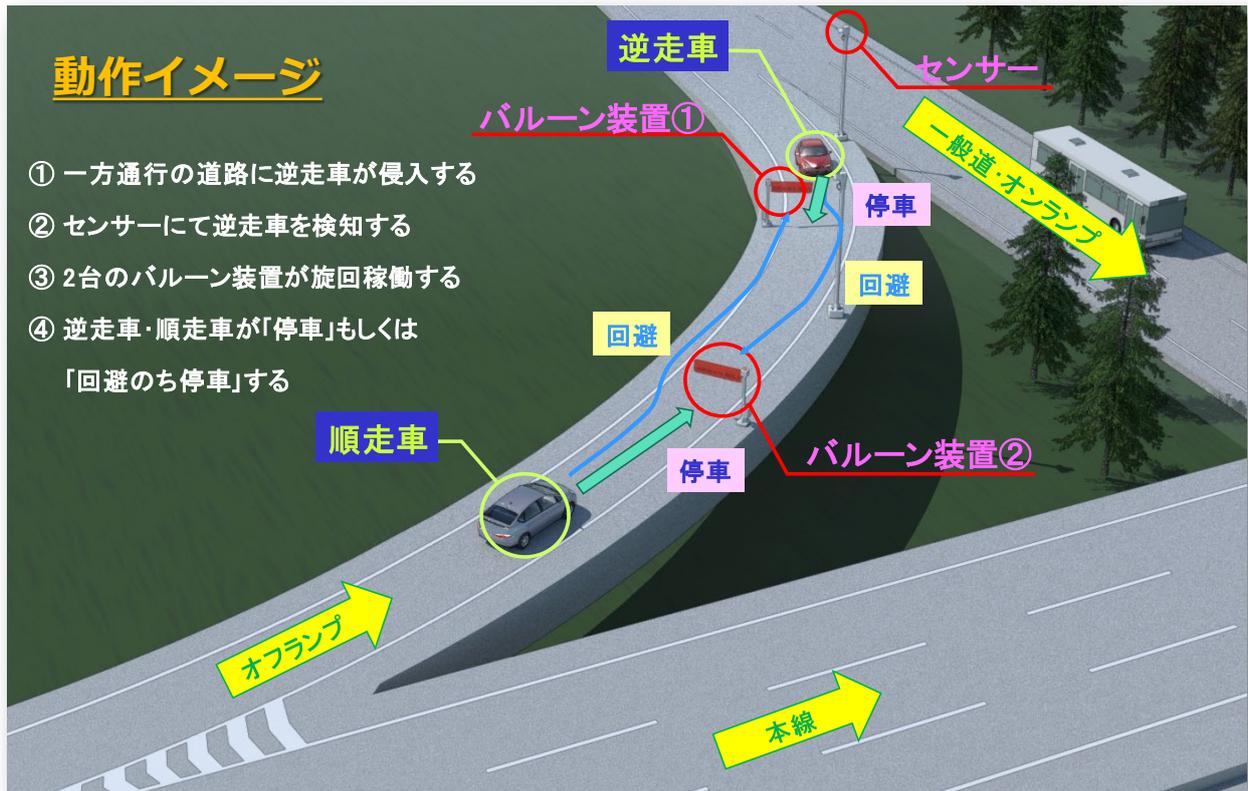


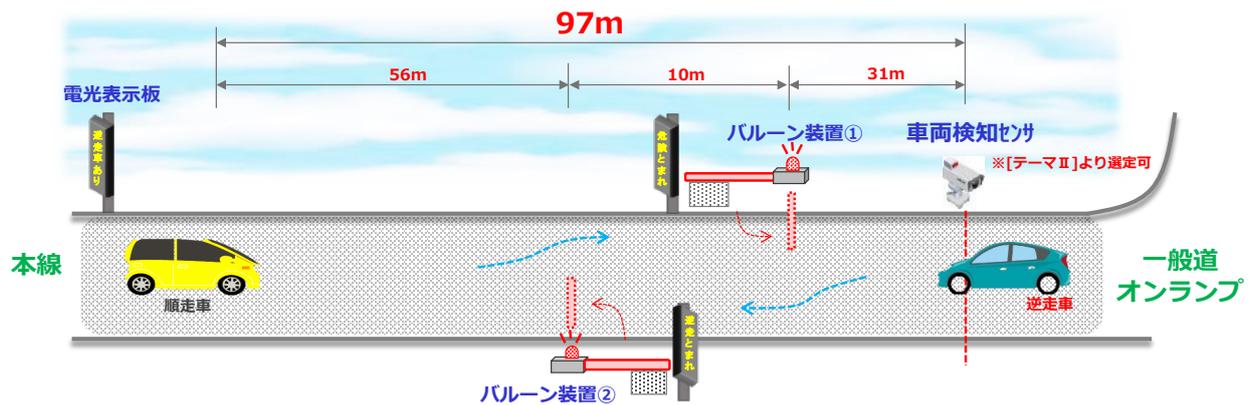
動作イメージ

- ① 一方通行の道路に逆走車が侵入する
- ② センサーにて逆走車を検知する
- ③ 2台のバルーン装置が巡回稼働する
- ④ 逆走車・順走車が「停車」もしくは「回避のち停車」する



エアバルーン逆走警告装置 システム概要

システム概要図



各装置の作動システム

- > 逆走車をセンサにて検知後、「2秒」でエアバルーンが作動完了する。
*「2秒」をかけての作動は、ドライバーのとっさのハンドル捜査の誤りや、急ブレーキを緩和させる。
- > 逆走検知後、瞬時にエアバルーン①、②の頭上にあるパトライトを発光させて注意を促す。
- > 順走車および逆走車の両者に対するパニックブレーキを生じさせないため、同時に注意喚起させる「電光表示板」を逆走車検知後、瞬時に発光させる。

作動イメージ



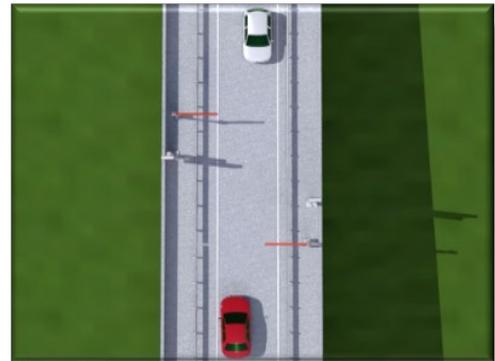
逆走車ドライバー視線

- *エアバルーン装置①から18m手前
- *視眼高 = 1.3m
- *視野角 = 40°

順走車からの視線



上空からのイメージ



エアバルーンによる物理的注意喚起

エアバルーンによる速度抑制

エアバルーンによる逆走重大事故撲滅

気づき → 減速 → 停止



作動状況

立会の様子
(警察、道路管理会社)



■ 機器仕様

- ・エアバルーン内には**空気**が充填されており、車両が衝突しても損傷を与える事はなく、バルーンが損傷しても着脱が容易に行える。
- ・空気圧が下がれば、**再充填を自動**で行うため、空気圧不足でバルーンが垂れる事はない。
- ・内部照明にて、バルーン自体が**発光**する事で夜間における認識性も高い。
- ・垂れ幕は着脱が可能であり、損傷や経年劣化の際の迅速な**取替えが可能である**。
- ・回転部を軸にエアバルーンが路面と**水平に回転**する。
- ・回転動作は空気圧によるもので、**僅か2秒**で開閉し、所要時間の変更も可能である。
- ・センサーからの信号(無電圧A接点)を受けて作動する。



夜間作動状況

(30m手前)



夜間作動状況

(前照灯有り)

